

[新刊紹介]

『兵庫のトンボ —分布記録と生態観察—』

東 輝弥・青木典司 著 680pp. 自刊 2025

池田 大

兵庫県の特産情報決定版が出版された。厚さ3cm、重さ2.3kg、680ページに及ぶ大作であり、かつてNTTが発行した電話帳『タウンページ』を思い出させるボリュームである。もちろん、ただ分厚いだけではない。筆者の一人である、東氏の米寿記念に制作されたとのことだが、県内で長年調査してきた筆者らの生きた証というほかない、非常に膨大な情報が記録されており重みを感じる。本書では、県内で確認されているトンボ全101種を主に『分布記録編』と『生態観察編』の2部構成で紹介している。

『分布記録編』には、1958年～2024年まで67年間の膨大な観察記録が各種別でまとめられており、本書のページ数全体の約80%に相当する。日付と場所といった基本情報のほかに、確認したステージや個体数などが詳細に記されており、当時の生息状況をイメージしやすい。また一般的な愛好家の場合、興味のある対象に観察記録が偏りがちで、定量的な観察記録が残ることは少ない。しかし本書では、特に観察の多い種において、1種で30ページを超えるデータがあり、確認した年代も偏っていない。このことから、いわゆる普通種であっても長年しっかり観察記録を残してきた様子を読み取ることができる。

『生態観察編』もまた、これだけで1冊の図鑑ができるボリュームである。県内の定着種が1種1ページで情報がまとめられており、飛来種・偶産種も合わせるとページ数は100ページ近くとなる。各ページには、青木氏による生態写真及び両氏の膨大な観察データより分析された、県内での生態及び生息状況が詳しくまとめられている。さらに、解説は一般的な図鑑の記述ではなく、筆者らが県内で実際に観察した一次情報で構成されており、こだわりを感じるオリジナル性の高い内容となっている。

以上のことから、冒頭でも述べた通り、本書はこれまで解明されている兵庫県の特産情報の情報がまとめられた決定版であり、県内のトンボを知るには必携であると考えられる。また一次情報満載の本書は、県内外に関わらずあらゆる場面での利用が期待される。購入希望の方は、自費出版のため東氏まで直接ご連絡いただきたいとのことである。

電子メール：t.akane.1610 ☆ gmail.com

(☆は@に置き換える)

(Hiroshi IKEDA 榎原市昆虫館)

